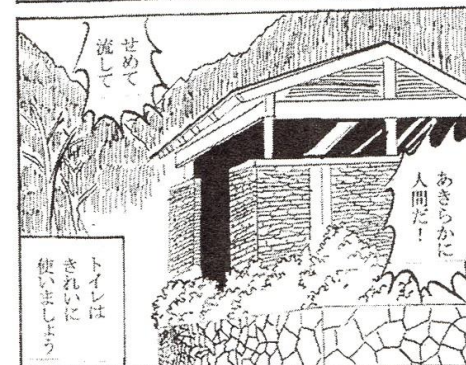
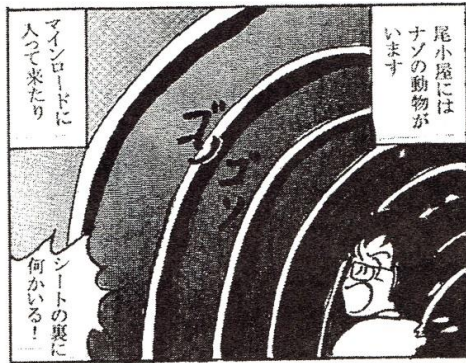


尾小屋鉦山だより

第3号

小松市尾小屋町カ1-1 TEL・FAX (67-1122) 平成27年11月

このマンガは実話です



ナゾの動物



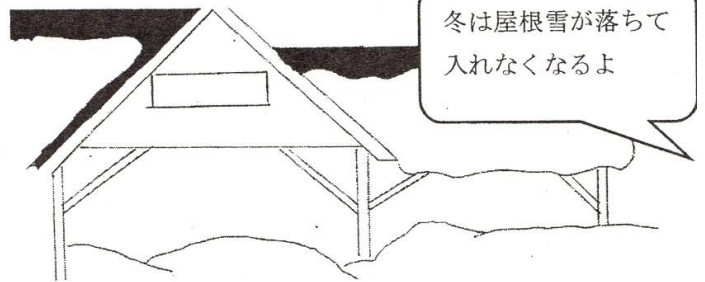
冬期休館のお知らせ

尾小屋鉦山資料館は12月1日(火)～3月24日(木)まで冬期休館いたします。入場はもちろん、外トイレも使用できなくなりますのでご注意ください。

えっ! 使えないの?!

ポッポ汽車展示館も冬じたく

現在下塗り作業中のハフ1号は11月中に塗装作業を終えて往時の姿に戻ります。その後12月6日(日)に雪囲いをする予定です。また尾小屋鉦山資料館の冬期休館に合わせて電源もカットされますので夕方の照明もなくなります。

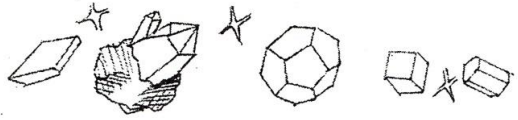


入館料	金額
一般	500円
団体(20名以上) プレミアムパスポート	400円

開館時間: 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

休館日 毎週水曜日(祝日を除く)・祝日の翌日

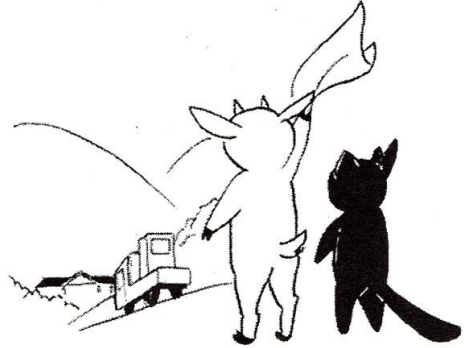
満員御礼！ミニ鉱物標本作り終了



10月10日小松市立博物館主催でミニ鉱物標本作りが行われました。午前中は 野外で鉱物採集を体験し、尾小屋鉱山資料館とマインロードを見学したのち、お弁当。午後から鉱物標本作製しました。午前中に採って来たものだけでは種類が少ないので前館長山本宗則氏提供の青色蛋白石や紫色の緑鉛鉱など貴重な鉱物を使い、世界に一つだけの標本箱が出来上がりました。

さよなら自動販売機

駐車場のコーナーにあった自動販売機は9月30日に撤去されましたのでご注意ください。



超ロングランアイテム その2 タガネ類

岩を割ったり削ったりする時に使う道具、タガネ。岩石だけでなく金属など硬い物を加工する時にも使われ、人類が坑道を掘る以前から存在していました。近現代の鉱山でもでも岩石を割ったり掘ったりはもちろん、支保作業や精錬所、機械の修理や整備など幅広く使われ続けています。尾小屋鉱山では削岩機の先に付けるタイプも含めて大量に使われており、焼き入れが悪いと折れたりするため、整備専門の人もありました。

展示品の中から紹介します。

- ① 手掘り発破タガネ（43cm・50cmの2種類）
発破（ダイナマイトで掘り崩す）や坑道の工事一般に使われました。



先が平たい物と尖っている物があります

- ② チンコタガネ（19cm・25cmの2種類）
一部のボーイズに大ウケのネーミングですが小さいタガネの意味です。



使い込んでちょっと曲っています。あまり曲がったり折れたりするとリサイクルされました。

- ③ ビコ割り（ビコ掘り）タガネ（40cm・48cmの2種類）
尾鉱（^{かわ}鍍や^{からみ}鍛など）を割るのでこの名前と呼ばれます。



- ④ 漏斗^{しょうご}抜きタガネ（135cm）
漏斗にとりついた鉱石を落とすのに使われました。

手作業タイプと機械に取り付けるタイプがあります。

展示タガネの中で一番長く、持ち手が付いています。

